

みなさんこんにちは。今回は、10月24日、25日に行われた緑のふるさと協力隊10周年記念行事について報告します。

旧椎田町時代から合わせて、築上町が協力隊員受け入れて今年で10年目となりました。そこで今回、日頃お世話になっている地域の皆さんや事業を主催するNPO法人地球緑化センター、隊員を陰で支えてくださる役場の方々、そして私を含め歴代の隊員たちが一堂に会して協力隊と築上町のこれまでの歩みを振り返り、それを踏まえた上で次の一歩につなげていこうという目的でイベントを行いました。10月24日には前夜祭としてコマールでの晩餐会、10月25日にはソピアで記念シンポジウムが開かれました。

この2日間のために産業課の方々と準備を重ねてきました。まず、町の皆さんの熱気に驚きました。久々の再会を待ち望む人が多かったのか、参加申し込みがどんどん集まり、前夜祭の会場を計画よりも大きくする程でした。

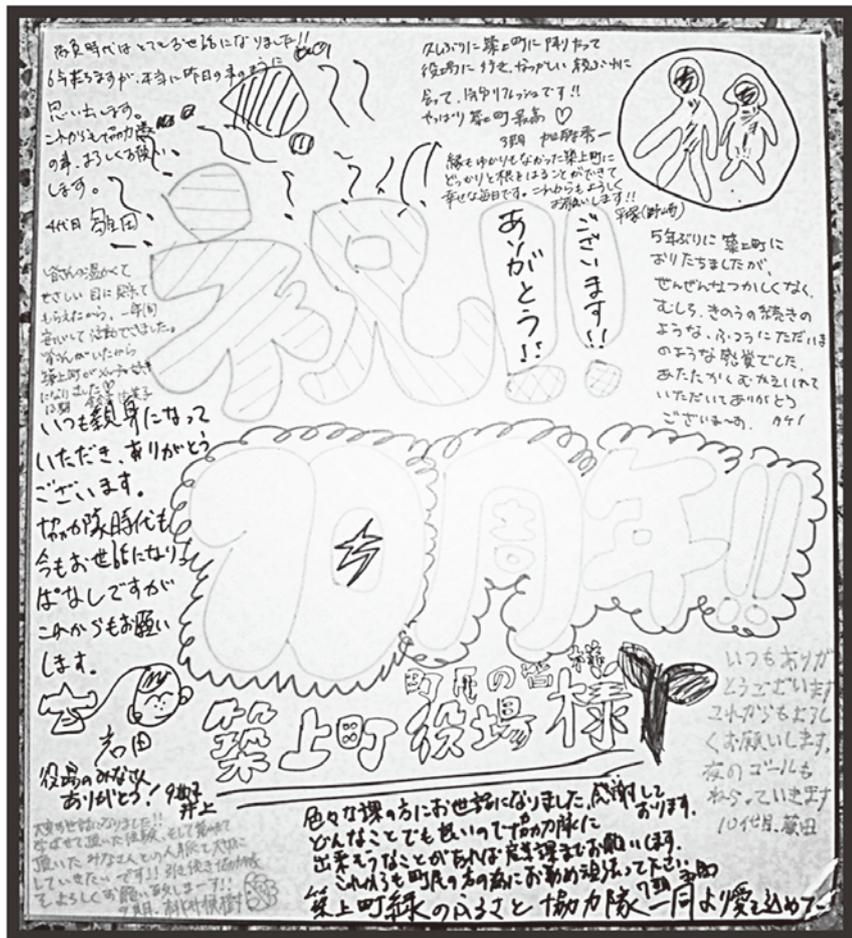
そして迎えた24日、歴代の隊員たちが続々と集まってきました。私自身初めてお会いする方もいましたが、町のあちこちで耳にした数々の伝説のお陰で、隊員たちが身近に感じられすぐに話が弾みました。前夜祭では歴代隊員紹介を任せられました。演出もばっちり決め華やかにイベントが開幕。名(迷)司会ぶりを動画で紹介できないことが残念です。

会場各地で話に花が咲きそのまま二次会に突入。秋の夜長も10年分の物語の前にはあまりにも短い！と痛感しました。

翌25日は少し真面目なシンポジウムです。朝方は前日の名残か協力隊員や聴衆の皆さんの中に眠そうな顔もチラホラと見えました。パネルディスカッションでは歴代協力隊全員が壇上にあがり、築上町で過ごした日々やそこで得た経験を語りました。回答はそれぞれでしたが、そこには築上町が好きだという共通の想いを感じました。その後の昼食会では、私が作成した歴代協力隊員の歩みをまとめたムービーを上映。懐かしい光景に会場から歓声があがりました。



▲シンポジウム



▲歴代緑の協力隊からのメッセージ

嵐のような2日間が終わった直後はなにも思い浮かびませんでした。今振り返るととても貴重な経験だったと思います。参加された皆さんからも好評を頂き協力隊のパワーで築上町を少しでも元気にできたのではないかと感じています。活動を通じて出会ったことも感じたことも十人十色な協力隊ですが、それぞれ町の人たちに大きな思いを残してきたことがわかりました。いつかまたこのパワーを結集し町をもっと元気にできないかと妄想が膨らんでいます。



▲前夜祭にて